

第140回横浜市都市美対策審議会

次 第

日 時 令和 8 年 3 月 24 日（火） 9 時から 10 時 30 分まで

会 場 横浜市役所 18 階 共用会議室 みなと 4 ・ 5

【次 第】

1 開 会

2 議 事

- (1) 各部会の開催状況について（報告）
- (2) 水際線まちづくりコンセプトプラン（原案）について（報告）
- (3) 「みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路」について（報告）
- (4) 新たな都市デザインのあり方冊子について（報告）
- (5) その他

3 閉 会

【横浜市都市美対策審議会 名簿】

委嘱期間：令和7年8月7日から令和9年8月6日まで

		氏 名	現 職 等
1	会長	野原 卓	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授（都市デザイン）
2	委員	青木 祐介	横浜開港資料館・横浜都市発展記念館 副館長
3	〃	大石 龍巳	公募市民委員
4	〃	加藤 光雄	横浜商工会議所 議員
5	〃	加茂 紀和子	名古屋工業大学大学院工学研究科教授（建築）
6	〃	川村 篤志	神奈川県弁護士会 弁護士
7	〃	北原 まどか	公募市民委員
8	〃	真田 純子	東京科学大学環境・社会理工学院教授（景観）
9	〃	東海林 弘靖	照明デザイナー・LIGHTDESIGN INC. 代表
10	〃	中島 直人	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻・教授（都市デザイン）
11	〃	福岡 孝則	東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授（ランドスケープデザイン）
12	〃	三輪 律江	横浜市立大学大学院都市社会文化研究科教授（建築・都市計画）
13	〃	山家 京子	神奈川大学建築学部教授（都市計画）

第139回横浜市都市美対策審議会議事録	
議 題	議事 1 横浜市都市美対策審議会会長の選任について 議事 2 横浜市都市美対策審議会部会委員及び部会長の指名について 議事 3 会長代理者及び部会長代理者の指名について 議事 4 各部会の開催状況について（報告） 議事 5 その他
日 時	令和 7 年 9 月 1 日（月）午前 9 時から午前 9 時 54 分まで
開催場所	横浜市役所18階共用会議室 みなと 4・5
出席委員 （敬称略）	大石龍巳、加藤光雄、加茂紀和子、川村篤志、北原まどか、東海林弘靖、中島直人（リモート）、野原 卓、三輪律江、山家京子
欠席委員 （敬称略）	青木祐介、真田純子、福岡孝則
出席した 幹事・書記	書 記：松本 光司（都市整備局企画部長） 古檜山匡和（都市整備局地域まちづくり部長） 馬場 明希（都市整備局企画部都市デザイン室長） 立石 孝司（都市整備局地域まちづくり部景観調整課長）
関 係 者	議事 4：伊藤 三英（都市整備局企画部都市デザイン室担当係長） 桂 有生（都市整備局企画部都市デザイン室デザイン調整担当係長） 新井貴美子（都市整備局地域まちづくり部景観調整課担当係長）
開催形態	公開（傍聴者：0名）
決定事項	
議 事	1 議 事 議事 1 横浜市都市美対策審議会会長の選任について 会長は、委員の互選により野原卓委員に決定した。 議事 2 横浜市都市美対策審議会部会委員及び部会長の指名について 事務局は部会構成及び部会長について事務局案を説明し、会長は新しい部会委員と部会長を指名した。 議事 3 会長代理者及び部会長代理者の指名について 事務局は会長代理者及び部会長代理者について事務局案を説明し、会長は会長代理者を、部会長は部会長代理者を指名した。 議事 4 各部会の開催状況について（報告） （野原会長） では、続きまして議事 4 になります。各部会の開催状況についてということで、前回、第138回横浜市都市美対策審議会以降に開催された各部会の開催状況について、ご報告をお願いしたいと思います。各部会長の皆様、事務局からご報告をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。では、ご報告についてご説明のほど、よろしく願いいたします。 政策検討部会の開催状況について、事務局から説明を行った。 続いて、第12回横浜・人・まち・デザイン賞まちなみ景観部門の応募状況等について、景観調整課から説明を行った。 （野原会長） これで全部会の報告終了ということでよろしいでしょうか。今、事務局から各部会の開催状況あるいは内容の一部についてご報告がございました。皆様からこのご報告についてご意見が何かございましたら頂戴したいと思いますし、各部会の委員の皆様の補足とか、もしそういうものがございましたら頂戴したいと思います。何か補足かご質問はございますでしょうか。新任の委員の皆さんもいらっしゃるのでもちよと確認ですけれども、例えば政策検討部会の 1 つ目というのは、関内駅前の 3 街区といえますか、まず、間もなく竣工を迎えている旧市庁舎街区があって、そのお隣、港町民間街区

	といわれているところにこれから再開発の予定があって、さらにCERTEがあるあの辺り、ちょうど20ページが一番分かりやすいからこれを見れば分かるなと思いましたが、この3街区についての議論をしている資料であるという、前提としてはそういうことでよろしいでしょうか。それを記載しているものがなかったので、初めての人は、これは何を議論しているのかなと一瞬思ってしまうかなと思ったので、一応確認です。 (伊藤係長) 1件目につきましては、景観を考えている中では3街区を意識していますが、該当する政策検討部会については、こちらの2棟分についてご審議いただいています。 (野原会長) 多分、もう、最初の1棟目といいますか、旧市庁舎街区はほぼできる直前まで来ているということですが、議題となっている残りの2棟について考えるために、3棟一体で検討されたという、そういう関係だということですね。 (伊藤係長) はい。そのとおりです。 (野原会長) そういう資料となっているという補足でございます。ほかに何か皆様ございませんか。各部会の委員の皆さんで補足とかあれば。では、大石委員、よろしくお願いします。 (大石委員) 最後に報告いただいた山下公園通りのものは、具体的には、スケジュール的には今後どうなっていくのでしょうか。行政の手続も含めてというか。 (馬場書記) 山下公園通り地区はビジョンをつくりまして、今回審議いただいたのはビジョンの素案という段階で、今、原案の策定に向けて取り組んでいます。この後、横浜市都市美対策審議会にどのタイミングでかけるかというのは、今まさに議論しておりますけれども、ビジョンの段階、原案というか、その後、ビジョンとして確定したときに報告してもらうのか、もしくは次の段階、さらにもう少し細かい計画が出てきたときにご審議いただくのかというのを、内部で今、議論している状況になります。 (大石委員) そうすると、ビジョンができたならそのビジョンを基に、例えば都市計画、地区計画か分からないですけれども、そちらに持っていくような感じになるんですか。 (馬場書記) 横浜市都市美対策審議会でもご意見を頂いてますが、ビジョンが少し漠然としたというか、総花的な表現になっておりますので、このまま地区計画をかけるとしたときに、それが根拠になるかどうかというのがまだ何とも言えないということになりますので、もしかしたらもう一段階踏むかもしれませんし、そのところも含めて今、議論しているところです。 (大石委員) ありがとうございました。 (野原会長) ほかはいかがでしょう。私から1点だけ質問です。今の件にもちょっと関連しますが、この数年といえますか、この10年といえますか、横浜市都市美対策審議会でも幾つか議論があったとおり、まさに旧市庁舎街区を中心としたその沿道、今回も3棟のところとかありましたけれども、そこをやっていくに当たってエリアコンセプトブックからプランに向けての、開発とかを行う前にエリアコンセプトみたいなものを、考えているものを提示するというのをやってきたと。近年になりますと、今、山下公園通りは山下公園通りのビジョンみたいなものを立ち上げるみたいなことになってきて、さらに関内駅周辺もマネジメント、AMCみたいなものもつくられていることで、そういう界限というかまとまったところの在り方を考えていく方法というんですかね、そういうのをこの10年ぐらい、いろいろな形で模索されているような感じがしますが、もう少しこれを仕組み化するなど、それぞれの界限で何かをしていくときに、エリアコンセプトプランに統合されていくのかいかないのか分かりませんが、そういったものを整理していくと、ほかのところでは何かこういうのを考えたときもやりやすかったりするのではないかとお見受けしましたが、そんなことは将来的に考え得るのか得ないのか。どうなのでしょう。 (桂係長) 今のところ、そういった開発のときに必ずつくっていくという仕組みには確かになっていません。
--	--

特に事業者の方を募集したりするときに、エリアコンセプトブックないしはデザインコンセプトブックと言っているものが効果を発揮するという側面と、今後ですけれども、地域の方たちと話していくときのコミュニケーションのツールとしてもうまく使っていきたいと思っているところになります。ただ一方で、割とデザインコンセプトブックのほうは法的な根拠を持たずに、横浜市がまちづくりとしてこういう方向に進めていったらいいんじゃないかというものを取りまとめたものとしてつくっていくのがよいのではないかと思っている側面はあります。というのも、必ずつくりましょうみたいな形にしていくと、ほかの、つまり都市計画でつくらないといけないとか、今までの形で、プランでつくっていかないといけないとか、かなり形式にとらわれていくという側面があって、そこから、そうではないものとしてつくってきたという側面もあるので、少し考えていかないといけないかなと思っています。ただ、今のところ多くの場合はお声がけいただいて、庁内で例えば担当局からつくりたいという声を頂いているので、そこについては前向きに考えていけるのではないかと思います。

(野原会長)

オブリゲーションかどうかというのはちょっと置いておいて、メニューといいますか、こういうのに手を挙げてやりたいなとか、そういう地区が成熟されてきたら、うまく使えるように少し整理できていればまた皆さん使いやすいかなど思ったりしたので、少しお伺いしました。

(桂係長)

ありがとうございます。

(野原会長)

ほかは皆さんよろしいですかね。ご報告ということで、これまでやっておられた委員の皆様はそれぞれの部会の中でいろいろやっておられると思いますし、表彰広報部会としては、これから横浜・人・まち・デザイン賞の審査といいますか、その辺のステップが次に待っているのかなと思っていますので、こちらも楽しみに待っておりますということでお願いしたいと思います。

では、よろしければ、議事4のご報告については以上ということにさせていただきたいと思います。

議事5 その他

(野原会長)

では、議事5、その他ということになりますが、こちらは事務局からございますでしょうか。

(新井係長)

続きまして、景観調整課の新井でございます。1点ご報告になります。このたび、横浜市都市美対策審議会委員の加茂委員を横浜市都市景観アドバイザーに選任いたしましたので、ご報告させていただきます。任期は審議会委員の任期と同じく2年となりまして、令和9年8月6日までお願いしたいと思っております。加茂委員、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

(野原会長)

ぜひよろしくお願いいたしますということで、ご報告でございました。

その他、全体につきまして、委員の皆様から何かございますでしょうか。では、議事としては以上になりますが、本日の審議内容につきまして、事務局から確認をよろしくお願いいたします。

(馬場書記)

本日は、会長の選任及び部会の構成、各代理者について決定させていただきました。ありがとうございました。また、報告事項につきましては、ご質問ですとかご意見を頂きましたので、今後の参考にさせていただきたいと思います。

また、議事録につきましてですが、会長の確認を頂まして、閲覧に供することとさせていただきたいと思います。以上でございます。

(野原会長)

では、次回の審議会の日程等について、事務局から何か連絡事項はございますでしょうか。

(馬場書記)

こちらの審議会のことを「親会」と言わせていただいておりますけれども、こちらについてはおおむね年に2回の開催を予定しております。次回の予定ですが、年度末をめどに別途日程調整させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

あともう一つ、今日の出席者数ですが、福岡委員が急遽ご欠席されましたので、出席者数は全部で10名ということですが、半数は超えておりますので成立ということでお願いしたいと思いま

	す。以上です。 (野原会長) 審議事項としては以上ということになりますので、進行を事務局にお返ししたいと思います。 2 閉 会 (馬場書記) では、これをもちまして、第139回横浜市都市美対策審議会を終了いたしたいと思います。このメンバーにて2年間やらせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。
資 料	・次第、審議会委員名簿、第138回議事録 【議事2】 ・資料2 : 横浜市都市美対策審議会（令和7年8月7日～） 部会構成（案） 【議事3】 ・資料3 : 横浜市都市美対策審議会 代理者（案） 【議事4】 ・資料4－1：前回（第138回）以降の各部会の開催状況（一覧） ・資料4－2：横浜市都市美対策審議会 各部会の開催報告 ・資料__政－1 ・資料__政－2 ・資料__政－3 ・資料__政－4 ・資料__政－5 ・資料__政－6 ・第12回横浜・人・まち・デザイン賞 リーフレット
特記事項	・本日の議事録については、会長が確認する。 ・次回の審議会は、別途日程調整する。